

2019 半期!

JAぎふディスクロージャー

(令和元年 9 月 30 日現在)

令和元年度における半期情報(4月1日~9月30日)において、お知らせします。



組合員・地域の皆さま

貯金
・
出資金

ご融資

文化的・社会的
貢献活動



JAぎふ

I. 地域貢献に関する取り組み

JA ぎふは、岐阜市、羽島市、各務原市、山臈市、瑞穂市、本臈市、岐南町、笠松町及び北方町の 6 市 3 町を事業区域とし、農業者を中心とした地域住民の皆さまが組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組合であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当 JA の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としています。当 JA では資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにもご利用いただいています。

当 JA は、経営の社会的責任（CSR）が求められる中、地域社会への貢献を経営理念の一環として掲げ、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JA の総合事業を通じて、各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

1. 地域からの資金調達状況

◆貯金◆

組合員の皆さまなどからお預かりした貯金の残高は、1兆133億円になりました。

◆出資金◆

協同組合である当 JA は、組合員の皆さまからの出資金によって支えられており、出資金の残高は72億円になりました。

◆金融商品◆

組合員・地域の皆さまのニーズに合わせてご利用いただける各種商品を取り扱っています。

2. 地域への資金供給状況

◆ご融資および農業機械リース◆

組合員の皆さまなどからお預かりした貯金などの大切な資金は、組合員をはじめ地域住民の皆さまの暮らしや、農業者・事業者の皆さまの事業に必要な資金としてご融資、および農業機械リースを通じて地域経済の発展に寄与しています。

◆資格別貸出金残高

資格	残高
組合員	1,938 億円
地方公共団体	65 億円
金融機関	120 億円
その他員外	62 億円
計	2,185 億円

◆資金用途別貸出金残高

資金用途	残高
設備資金	1,969 億円
運転資金	216 億円
計	2,185 億円

◆農業関連資金

資金名	件数	残高	内容
アグリサポート資金	376 件	1,522,130 千円	農業経営の合理化に必要な資金
あぐりサムライ	94 件	667,413 千円	農業に関する様々な用途にご利用いただける資金

◆農業制度資金

資金名	件数	残高	内容
農業企業化資金	9 件	50,999 千円	農業経営改善に必要な資金
就農支援資金	22 件	29,483 千円	就農前の研修その他就農の準備、農業経営の開始に必要な資金

◆農業機械リース

件数	取扱金額
76 件	413,579 千円

◆預託家畜

軒数	頭数	残高
6 軒	374 頭	307,101 千円

3.文化的・社会的貢献に関する事項

◆地域とのつながり等◆

- ★地産地消への取り組み
 - ・メディアを通じた地産地消 PR 活動（GOGO キューブマン）
 - ・おんさいワゴンによる産直品販売
 - ・JR 岐阜駅 アクティブ G にて「出張おんさい広場」を開催
 - ・農業の応援団活動
- ★農地保全・農業振興への取り組み
 - ・農山村のふるさとづくりプロジェクト
 - ・体験農園開設、農園付賃貸住宅
 - ・小学生農業体験学習への支援（田植え、稲刈り等）
 - ・LED照明を用いた野菜の室内栽培
- ★スポーツ活動
 - ・みのっ太カップ少年サッカー大会、バレーボール大会
 - ・JAぎふリオレーナによるバレーボール教室（7回開催）
- ★環境保全への取組み
 - ・役職員によるクールビズ運動の実施
 - ・農業用使用済プラスチックの回収
- ★地域活性化
 - ・各支店にて夏祭り・地域農業祭・収穫祭の開催
 - ・子ども食堂へ食材提供・地域活動支援基金（みのっ太基金）
- ★自己改革
 - ・役職員が全組合員を対象に全戸訪問活動を実施
- ★情報発信
 - ・JAぎふ公式 LINE@による会員限定クーポンの発行や情報発信
 - ・JAぎふ公式 YouTube による情報発信



◆地域サービス◆

- ★店舗・ATM
管内に本店・支店・ATM102台(共同機械出張所を含む)を設置しています。
 - ★資産管理セミナー
 - ★住宅ローン相談
 - ★税務・資産相談、法律相談
- 【各相談会開催数 合計112回】
〈令和元年9月30日現在〉



◆地域の皆さまとのネットワークづくりへの取り組み◆

- ★JA ぎふ年金友の会会員数
50,426名
- ★JA ぎふ女性部部員数
4,250名



- ★JA ぎふ青年部部員数
104名



〈令和元年9月30日現在〉

◆情報提供活動◆

- ★広報誌「ふれあいねっと」を毎月 80,000部発行しています。

★ホームページの公開
<https://www.jagifu.or.jp/>

- ★ディスクロージャー誌の発行

- ★JA ぎふ公式 LINE@

お友達登録は
こちらから
⇒⇒⇒⇒⇒



- ★YouTube
JA ぎふ公式チャンネル



YouTube
JA ぎふ公式チャンネル



カメラを起動して
QRコードを読み取ると
YouTubeが見れます！
随時新着動画更新中！

JAぎふ ユーチューブ 検索

Ⅱ. 財務状況や事業に関する開示事項



1. 単体自己資本比率（国内基準適用）

令和元年9月末(見込み)	平成31年3月末
20.60 %程度	20.41%

(注)

- ① 当JAは、信用リスク・アセット額の算出にあたっては標準的手法、適格金融資産担保の摘要については信用リスク削減手法の簡便手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出にあたっては基礎的手法を採用しています。
- ② 当JAが有するすべての自己資本とリスクを対比して、自己資本比率を計算しています。

2. 主要勘定の状況

(単位:百万円)

種類	令和元年9月末	平成31年3月末	平成30年9月末
貯金	1,013,329	1,016,027	1,007,624
貸出金	218,552	214,314	209,842
預金	764,861	765,008	767,247
有価証券	64,439	65,067	63,395
金銭の信託	9,000	9,000	9,000

3. 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位:百万円)

種類	令和元年9月末			平成31年3月末		
	取得価額	時価	評価差額	取得価額	時価	評価差額
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	19,799	20,536	737	19,799	20,520	721
その他	42,221	44,639	2,418	43,254	45,267	2,013
合計	62,020	65,175	3,155	63,053	65,787	2,734

【金銭の信託】

(単位:百万円)

種類	令和元年9月末			平成31年3月末		
	取得価額	時価	評価差額	取得価額	時価	評価差額
運用目的	9,000	9,000	—	9,000	9,000	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
合計	9,000	9,000	—	9,000	9,000	—

(注)

- ① 期末日における市場価格等に基づく時価としています。
- ② 取得価額は、取得原価又は償却原価によっています。
- ③ 満期保有目的有価証券については、取得価額が貸借対照表に計上されています。
- ④ その他の有価証券については、時価を貸借対照表価額としています。
- ⑤ 運用目的の金銭の信託については、時価を貸借対照表価額とし、評価差額については当期の損益に含めています。

Ⅲ. トピックス

すべては組合員とともに



第4次中期経営計画のメインテーマに「すべては組合員とともに」を掲げ、総合事業を通じて組合員の悩み事の相談にのり、組合員とともに豊かで暮らしやすい地域社会を目指します。

今年度、新たに専門相談員を配置し、支店職員と連携することで各種相談機能の強化による対応力の充実を図りました。

組合員全戸訪問の実施



昨年度に続き、今年度は7月に訪問活動を行いました。今年度より相談機能強化を図り、皆さまが抱える課題解決に向け、JAぎふとして何ができるかを職員一人一人が考え説明し、多くの相談、ご意見、ご要望を賜りました。いただいた相談等の解決に向け、内容に応じて支店と担当課が連携し、解決策の提案をいたしました。

みのっ太 de ポイント 「森 昌子 特別公演」



みのっ太 de ポイントご優待企画第一弾として7月に管内3会場にて「森昌子 特別公演」を開催しました。

「プラチナ」以上のステージを獲得された皆さまをご招待し、4日間8回公演で8,000名以上の方にご参加いただきました。数々の大ヒット曲とモノマネを交えたコミカルなお芝居を披露し、来場された皆さまを魅了しました。

子ども食堂贈呈式



『各務原にんじん』のブランド化を目指し、各務原市×JAぎふ×東海学院大学×商工会議所が連携し、商品開発やPR活動を展開しています。その一環で「各務原にんじん 子ども食堂」を7月に期間限定でオープンし、子供たちと地域の人たちとの交流を図りました。

JAぎふからは、カレーライスに使う『各務原にんじん』とジャガイモ・タマネギを寄贈しました。

JA女子大 JAwing



JA女子大「JAwing」は、JAと女性部への理解を深めてもらおうと2017年に開校し、3年目となる今年度は102名が入学しました。受講生は、食と農に関心を持ち生活の質の向上に役立つさまざまなカリキュラムを受講します。

女性が興味を持って取り組めて、趣味を増やし仲間をつくることにつながる場を提供しています。

